

2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 茨城県 】

学校名【 古河市立古河第七小学校 】

1 実践テーマ	V
2 実施対象者 (学年・人数)	古河市立古河第七小学校 5学年108名 6学年87名 教職員 30名 保護者 13名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (学級活動・体育) ② 行事名 (講演会・実技指導) ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	世界陸上で活躍した選手の講演や実技指導をとおして、オリンピック・パラリンピック教育を推進し、児童が生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。
5 取組内容	1 講演(体育館) (1) 日時 令和元年12月17日4時間目 (2) 対象 5,6学年及び保護者,教職員 (3) 講師 石塚 祐輔 先生 (4) 講演内容 ア 小学生時代 イ 中学生時代(部活動) ウ 進路決定に向けて エ 世界陸上に出場するまで



2 給食での交流

- 学級（6年1組）に入り、直接交流しながらの会食

3 模範演技及び実技指導

(1) 日時 令和元年12月17日5、6時間目

(2) 対象 5時間目・・・5学年

6時間目・・・6学年

(3) 模範演技及び実技指導（学年ごとに分かれて実施）



4 事後指導

本校は、昨年度と今年度の2年間、古河市教育研究会指定で国語の学習に取り組んでいる。そこで、今回の取組も感想や振り返りを「川柳」にした。

(1) 茨城新聞「ワイドひろば」応募

(2) 古河七小で取り組んでいる「オリンピック・パラリンピック教育」について、保護者や地域の方々に理解・啓発を図るために、以下のような資料を作成した。



5 オリンピック・パラリンピックコーナーの設置

オリンピック・パラリンピックに関する書籍を図書館に整備し、いつでも誰でも触れられるように整備した。



6 主な成果	<ul style="list-style-type: none"> • 教室や廊下にオリンピック・パラリンピックに関する情報を掲示し、児童の興味関心を高め、意欲付けをした。 • 選手の生き方を通して、児童は自分の夢や目標、生き方について考えたり、日々の努力の大切さについて学んだりすることができた。 • 児童のオリンピック・パラリンピックへの理解と関心が大きく高まった。
7 実践において工夫した点 (事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> • 講演以外の学校環境にオリンピック・パラリンピックへの興味関心が高まる環境作りを行った。 • 国語や道徳、総合的な学習の時間、学級活動などに関連させ、教科の横断的な学習を進めた。 • 陸上競技のパフォーマンスを間近に見ることができ、児童の陸上競技への関心を高めることができた。
8 主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> • 講師選定に難航したので、講師依頼をするにあたり、所属企業へ直接電話等での交渉となるが、講師として来ていただきたい競技種目の連盟等に連絡すれば講師をある程度紹介していただけるシステムはできないかが課題である。 • 単発的な講演会だけに終わらせないよう、オリパラ教育をいかに学校教育のカリキュラムに位置付けていくかが課題である。 • 他の教科等との関連を意識したカリキュラムの作成と実施が課題である。
9 来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> • 今年度の講師とは、来年度以降も交流を続けながら、東京2020大会に向けて児童が生き生きと活躍し、豊かな心を育成できるように、オリパラ教育を進めていく。